

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.8.31

第 1113 回放送分『子どもの疾患』5 回目

ゲスト：鈴木昌也ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「子どもの疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 鈴木昌也（すずひがし まさや）ドクターです。
鈴木さん、最終週もどうぞよろしくお願ひいたします。

鈴木昌也Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は子どもの血便についてお話しいただきました。
その中で、切れ痔による血便も多く、その原因となっているのが便秘ということでした。
便秘は子どもの腹痛の原因の中でも上位にあり、今日は子どもの便秘について、詳しくお伺いします。
まずは、どのくらいの頻度だと便秘といえるのでしょうか？

鈴木昌也Dr.

3日に1回くらいだと便秘です。
実は親御さんが便秘だと、「3日に1回の便が普通」だと思ってしまい、子どもの便秘に気づかないこともあるので、注意が必要です。
また赤ちゃんのときは親も便をチェックできますが、小学生になると、便を見ることもほぼなくなります。
そのため治療が遅れてしまうケースが多いんです。

二見いすず

そうなんですね。どのくらいの子どもの子どもたちが便秘で悩んでいるのでしょうか。

鈴木昌也Dr.

約2割といわれているので、30人のクラスだと、5、6人の子どもたちが便秘だと推測されます。

二見いすず

結構多いんですね。

鈴木昌也Dr.

はい。理想的な便はバナナくらいのやわらかさです。

硬いとコロコロとした便になります。

2、3歳の子どもが3、4日に1回、こうしたコロコロとした便を顔を真っ赤にして出すと、便秘の可能性が高いです。

また、1、2歳の子どもが足をクロスしてお尻を締めるようなポーズで顔を真っ赤にしている場合も、便秘の可能性ががあります。

二見いすず

便の形や硬さ、そして子どもの顔やしぐさなどでも、便秘かどうか、ある程度予測できそうですね。ところで、便秘の治療にはどのようなものがあるのでしょうか？

鈴東昌也Dr.

便を直接出す浣腸や下剤、あと食物繊維を摂ることも大切です。

そしてもう1つ注意していただきたいのが、かくれ便秘についてです。

二見いすず

かくれ便秘！？これはどういう状態なんですか？

鈴東昌也Dr.

かくれ便秘とは、便自体は毎日出ているものの、硬い便が蓋をしており、わきの方から下痢が出ている状態です。

一応毎日出るので、「自分は便秘じゃない」と思ってしまうところが厄介で、注意が必要です。

二見いすず

そうなんですね。

鈴東昌也Dr.

便秘は治療開始が遅れるほど、症状の持続期間や治療期間も長くなります。

また、便秘になると QOL も低下するので、便秘に早めに気づき、早めの治療をすることが大切です。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「子どもの疾患」をテーマに

鹿児島県医師会 鈴東昌也ドクターに貴重なお話をさせていただきました。

鈴東さん、5週にわたり、ありがとうございました。

鈴東昌也Dr.

ありがとうございました。